

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No.	17	事例No.	14	依頼者	名古屋市立旭丘小学校	実施場所	旭丘小トワイルーム
実施対象	旭丘小学校 4 年生全員 （2 クラス合同授業 76 名）						
実施日時	平成 30 年 10 月 4 日（木）9 時 40 分～11 時 25 分 （1 時間 45 分）						
テーマ	エコライフすごろくの体験—私たちにできること						

●依頼内容

3R を自分たちにとって身近なものであると実感できる授業の実施してほしい。

●講師：（公社）NACS 消費生活研究所 環境カウンセラー 浅野智恵美氏

NACS 消費生活研究所主任研究員及び環境カウンセラー。「毎日の暮らしにおいて、消費者には自由に商品を選べる権利と共に過剰消費に気をつける、再生可能エネルギーや資源、生き物のことを考えるなどの責任がある。持続可能な社会につながる企業や商品を選ぶことが重要」との思いのもと、環境問題と消費生活問題に関する講師を数多く務める。これまでに豊富な実績を有する。

●授業の内容

座学	3R に関する説明	リデュース、リユース、リサイクルの意味と取組事例、名古屋市のごみ分別と排出の仕方、最終処分場問題など廃棄物に関する現状やエコ商品の紹介など、エコライフに関わる「3R」について説明しました。	90 分
実習	エコライフすごろくの実施	エコライフすごろくに関する説明がされたのち、1 組と 2 組の児童を 2 人ペアとして指名し、すごろくを実施しました。基本的にサイコロを振って出た目の数を進んだ先のコメントを読み上げる形でゲームが進められました。記載されたコメントの内容によって、プラス、マイナスの点数が付加されます。例えば、詰め替え商品を利用するとプラス、不要になった衣服を捨てるとマイナスになります。	
	行動計画のまとめ	すごろくの中でやり取りされたエコライフに関する意識を自分の行動に反映するため、子どもたちは具体的な行動計画（エコ宣言）を各自でまとめました。	

●授業の様子

2 クラスの児童が合同で集まって、エコすごろくをクラス対抗で実施したため盛り上がりました。子どもたちは講師の問いかけに対して積極的に答えていました。授業のまとめとなる「エコ宣言」について、各自用紙にまとめることで、子どもたちの意識付けがされました。

エコすごろく実施中に「3R の説明」



エコの視点でのプラスやマイナスの理由を発言

